

# ～新潟大学の大学院で看護の研究をする～

保健学研究科 杉間海斗、小原慶子、青木幸恵、大川恵 / 医学部保健学科 教授 有森直子

## 大学院



**大学のあと、大学院に進みます。**

私たちは学部を出てライセンスをとった後、さらに「大学院」で研究をしています。看護職（看護師、保健師、助産師）は、大学院以外の病院などでも研究をしています。

**全国に看護の大学院は約200校あります。**

新潟大学にも大学院はあります。大学院には、学部から直接行ってもよいですが、しばらく働いてから大学院に来る場合もあります。そこが看護の大学院の特徴ともいえます。

## 看護



フローレンス・ナイチンゲール  
(出生地：イタリア)

**「看護」といえば「ナイチンゲール」**

クリミア戦争（1853～1856年）の野戦病院での傷病兵は不潔な病院の床に寝かされ、戦場で生き残っても傷ではなく、感染症で命を落とす状況でした。

ナイチンゲールは、掃除や食事など衛生状態の改善、毎日包帯を替えたり、病人に合わせて食事を提供したり、負傷兵のために家族に手紙を書いたりという「看護」を行いました。その結果、死亡率を46.7%から2.2%まで減少させました！そのデータは、今も残っています。



## 研究

**「研究」という単語をインターネットで調べると…**

ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、**実験、観察、調査**などを通して調べて、その物事についての事実あるいは真理を追求する一連の過程のことである。…と説明されています。  
(フリー百科事典ウィキペディアより)

**医療は、病気の治療(医学)と、食べる・寝るなどの生活を見直したり整える(看護学)、患者さんが自分のカラダを知る(教育学)に関して、研究者が、皆さんの健康のために、日々研究を行っています。**

Cure  
(治療)

Care Education  
(看護) (教育)

たとえば、私たちが研究している**遺伝看護学**について紹介します。



\*親から子に引き継がれる「いでん」する体質について気になることを、患者さんのお話を聞いてまとめる研究もあります。

マルファン  
症候群

チャージ  
症候群

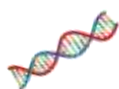
シャルコー  
マリー  
トゥース病

診断がつくまでに  
何十年もかかったんです。

数少ない「いでん」の病気は、

**「私と同じ病気の人是怎么なふうに過ごしているのかな？」**  
—この質問に、これらの研究が役立ちます。

母も同じ病気だった。  
遺伝するのかな？



\*カラダの設計図「遺伝子」「ゲノム」を知ることのメリット・デメリットについて、調べる研究もあります。遺伝/ゲノムの検査を受けるかどうか迷っている人に役立つパンフレットを研究で開発しています。



決めることを明らかにしましょう。  
一緒に考えましょう。

悩まれ、選択したことを支援します。  
どうぞ安心してご相談ください。